

都道府県別賞一等

不況から学ぶ生命保険

長崎県 長崎市立日見中学校 三学年

石黒 悠真

新年を迎えしばらくして、ロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。予測不可能な出来事に世界中が驚きと不安の中、絶望的な時間を過ごしています。私達が生きている間に再び戦争が起きてしまうとは。誰もがこの平和な世が続くと信じ、疑いませんでした。一度戦争が起こってしまうと、食料や資源問題に直面し人々の生活は危ういものになってしまいます。今回のウクライナ戦争も例外ではありません。株価の急落や円安の加速が毎日報道されています。ガソリンや生活必需品、エネルギー代が高騰し、新型コロナウイルスで打撃を受けていた経済にさらに追い討ちをかけた。

我が家の家計も火の車で、母がやりくりで頭を抱えています。そんな時、状況確認のために来られたファイナンシャルプランナーの方に不安な胸の内を明かし、相談しました。生命保険には主に病気やケガなどに備える保険と家計の急変や将来のために資産運用する貯蓄型の保険があります。今回は、変額保険について紹介してもらいました。変額保険とは、保険会社が株式や債券を中心に資産運用し、その実績に応じて死亡保険金や解約返戻金、満期保険金の変動する生命保険です。今まで別に掛けていた死亡保険から変額保険にシフトすることで、効率よく老後資金を貯蓄することができます。国は以前から資産運用を推進してきましたが、日本で資産運用をしている人の割合は四十パーセント弱と低い水準にあります。浸透しない理由の一つにリスクの問題があります。資産運用を行なっていない人の半数は興味はあるが踏み込めない状態にあります。これらの人達のニーズに適切に対応するために、ファイナンシャルプランナーの方々は重要な役割を担っています。各家庭ごとのライフプランに合わせて必要な生命保険を適宜、調整しながら提案されています。人々は、生命保険によって安心と明るい未来を約束されていると言っても過言ではありません。生命保険は、世界情勢や日本の経済と密接につながっています。その形を柔軟に変容させながら、人々の命や生活を守り続けているのです。困難な世の中に光を与え希望を持ち続けられるようにと日々努力されているファイナンシャルプランナーの方々の姿が目に見えます。戦争という不測の事態が、人々に不安と混乱を招きます。乱れを軌道修正し、人々に寄り添い導くことができるのが生命保険の力なのです。私は困難な世の中をファイナンシャルプランナーの方と共に前を向いて、強く生き抜いていきたいと思います。